



このまち **思い** エネルギー。

広島ガス

2019年5月24日

1. 2018年度 決算実績
2. 2030ビジョン
3. 中期経営計画
4. トピックス

1. 2018年度 決算実績



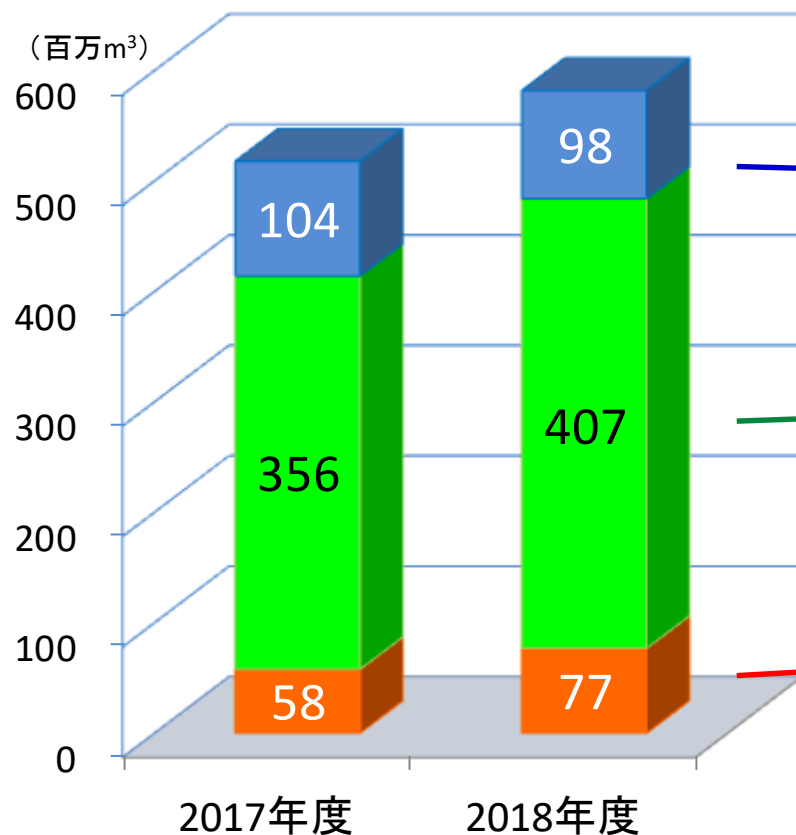
- (1) 都市ガス販売量実績
- (2) 2018年度 決算実績
- (3) セグメント別 決算実績
- (4) 財政状況
- (5) 2019年度 業績見通し
- (6) 株主還元方針

(1) 都市ガス販売量実績



2018年度 都市ガス販売量

583百万m³
(+63百万m³、+12.3%)



■ **家庭用** ▲5百万m³(▲5.2%)

・春先の高気温、猛暑、暖冬の影響

■ **業務用** +51百万m³(+14.3%)

・既存大口需要家への販売量の増加

■ **卸供給等** +18百万m³(+30.9%)

・既存卸需要家への販売量の増加

(2) 2018年度 決算実績



(単位:百万円)

	2017年度	2018年度	増減	率(%)
売上高	73,717	81,842	8,124	11.0
売上総利益	28,422	27,269	▲1,152	▲4.1
営業利益	2,920	1,926	▲994	▲34.0
経常利益	3,506	2,509	▲996	▲28.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,499	1,971	▲528	▲21.1
ROE(%)	5.3	4.1	▲1.2	—
原油価格 JCC(\$/bbl)	57	72	15	—
為替レート(円/\$)	111	111	0	—

(注) JCC(=Japan Crude Cocktail): 全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格



経常利益 約10億円 の減益

(3,506百万円 ⇒ 2,509百万円)



「▲」は利益に対する影響額を示す

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1. 原油価格の上昇(スライド差) | ▲10億円 |
| 2. 高気温の影響 | ▲5億円 |
| 3. 7月豪雨災害の影響 | ▲2億円 |
| 4. その他
(ガス販売量の増加影響や経費の減少 等) | +7億円 |

(3) セグメント別 決算実績



(単位: 百万円)

		ガス事業	LPG事業	その他	調整額	連結
売上高	2018年度	65,408	15,108	3,969	▲2,643	81,842
	2017年度	57,803	14,709	3,970	▲2,766	73,717
	増減率(%)	7,604 13.2%	398 2.7%	▲0 ▲0.0%	123 —	8,124 11.0%
セグメント利益	2018年度	1,358	139	195	233	1,926
	2017年度	2,182	307	83	346	2,920
	増減率(%)	▲824 ▲37.8%	▲168 ▲54.8%	112 134.1%	▲113 —	▲994 ▲34.0%
セグメント売上高利益率	2018年度	2.1%	0.9%	4.9%	—	2.4%
	2017年度	3.8%	2.1%	2.1%	—	4.0%

(4) ① 財政状況



(単位:百万円)

	2018年3月末	2019年3月末	増減
総資産	102,656	104,935	2,278
負債	51,696	54,223	2,526
純資産	50,960	50,712	▲247
(株主資本)	46,262	47,756	1,493
(その他包括利益累計額)	2,069	263	▲1,805
(非支配株主持分)	2,628	2,693	65
自己資本比率(%)	47.1	45.8	▲1.3pt

(4) ② 財政状況



(単位: 百万円)

	2017年度	2018年度	増減
営業CF	11, 516	4, 897	▲6, 618
投資CF	▲7, 468	▲6, 466	1, 001
財務CF	▲2, 630	1, 231	3, 861
設備投資額	7, 401	7, 377	▲23
減価償却費	7, 269	7, 349	79

(5) 2019年度 業績見通し



(単位:百万円)

	2018年度 (実績)	2019年度 (見通し)	差異
売上高	81, 842	86, 000	4, 157
営業利益	1, 926	2, 700	773
経常利益	2, 509	3, 100	590
親会社株主に帰属する 当期純利益	1, 971	2, 000	28
ROE(%)	4. 1	4. 0	▲0. 1
原油価格 JCC (\$/bbl)	72	65	▲7
為替レート(円/\$)	111	115	4



経常利益 約6億円 の増益

(2,509百万円 ⇒ 3,100百万円)



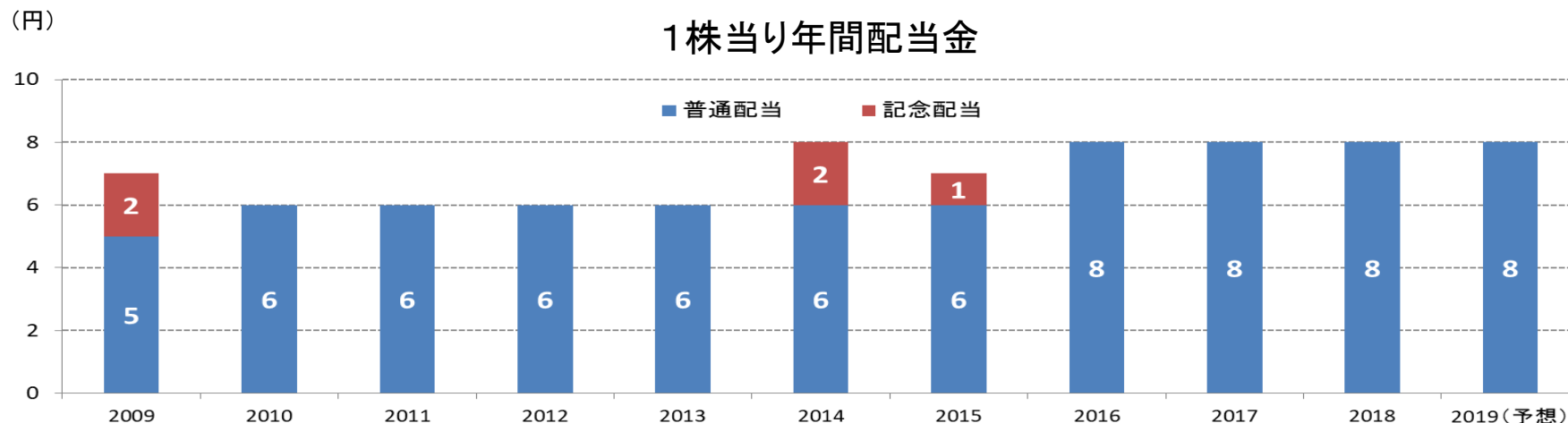
「+」「▲」は利益に対する影響額を示す

- | | |
|-----------------|------|
| 1. スライドタイムラグの影響 | +9億円 |
| 2. その他 | ▲3億円 |

(6) 株主還元方針

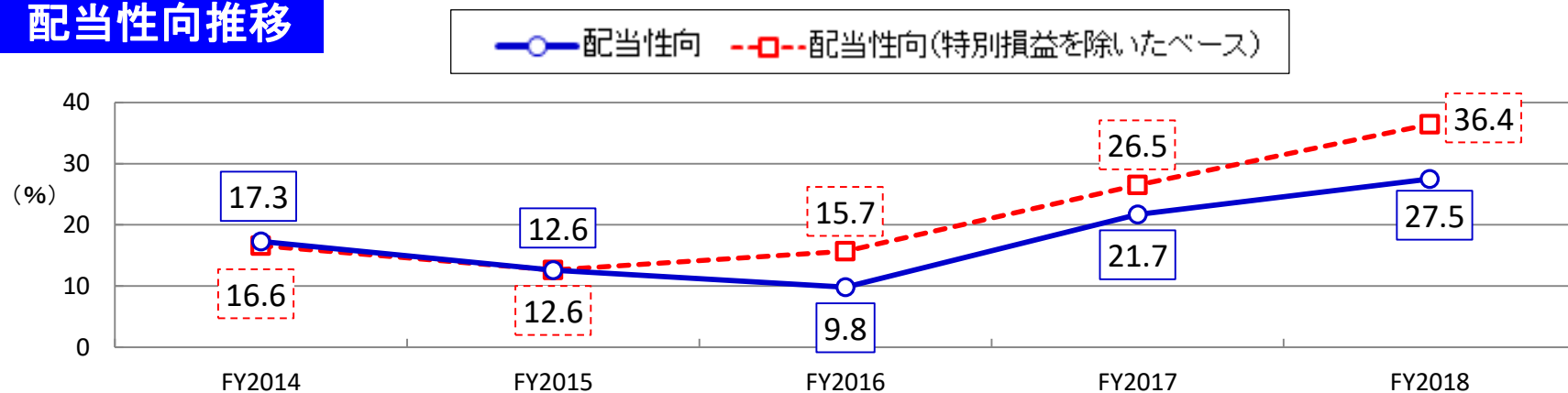


①徹底した経営効率化と積極的な営業活動の展開により、安定配当を継続することを基本方針としつつ、中長期の利益水準等を総合的に勘案し、成長に合わせた配当を実施、②短期的な利益変動要因を除き、連結配当性向30%以上を目指す



※2009年度は、創立100周年、2014年度は、東証一部指定、2015年度は、天然ガス供給開始20周年に対し、記念配当を実施

配当性向推移



2. 2030ビジョン

広島ガスグループ2030年ビジョン「スローガン」

幸せにつながる感動発信



2030年度経営目標

広島ガスグループは連結経常利益70億円規模の
企業グループに成長する

2030年の目指す姿

(1) 販売量

	2018年度実績	2030年度
都市ガス事業	583百万m ³	750百万m ³
LPG事業	89千t	120千t

(2) 事業構成比

	2018年度実績	2030年度
都市ガス事業	79%	70%
LPG事業	18%	20%
その他事業	3%	10%

※構成比は事業の規模感を示し、売上高比率のイメージである

2030年の目指す姿

(3) 経営指標

		2018年度実績	2030年度
収益性指標	ROA	1.9%	3.5%以上
	ROE	4.1%	8%以上
	EBITDA※1	92億円	160億円以上
安全性指標	自己資本比率	45.8%	50%程度
株主還元	配当性向	27.5%	30%以上※2

※1 EBITDA=営業利益+減価償却

※2 短期的な利益変動要因を除く

(4) 参考

12年間(2019年度～2030年度)で、1,300億円の投資を計画

3. 中期経営計画

基本方針（中期経営計画）

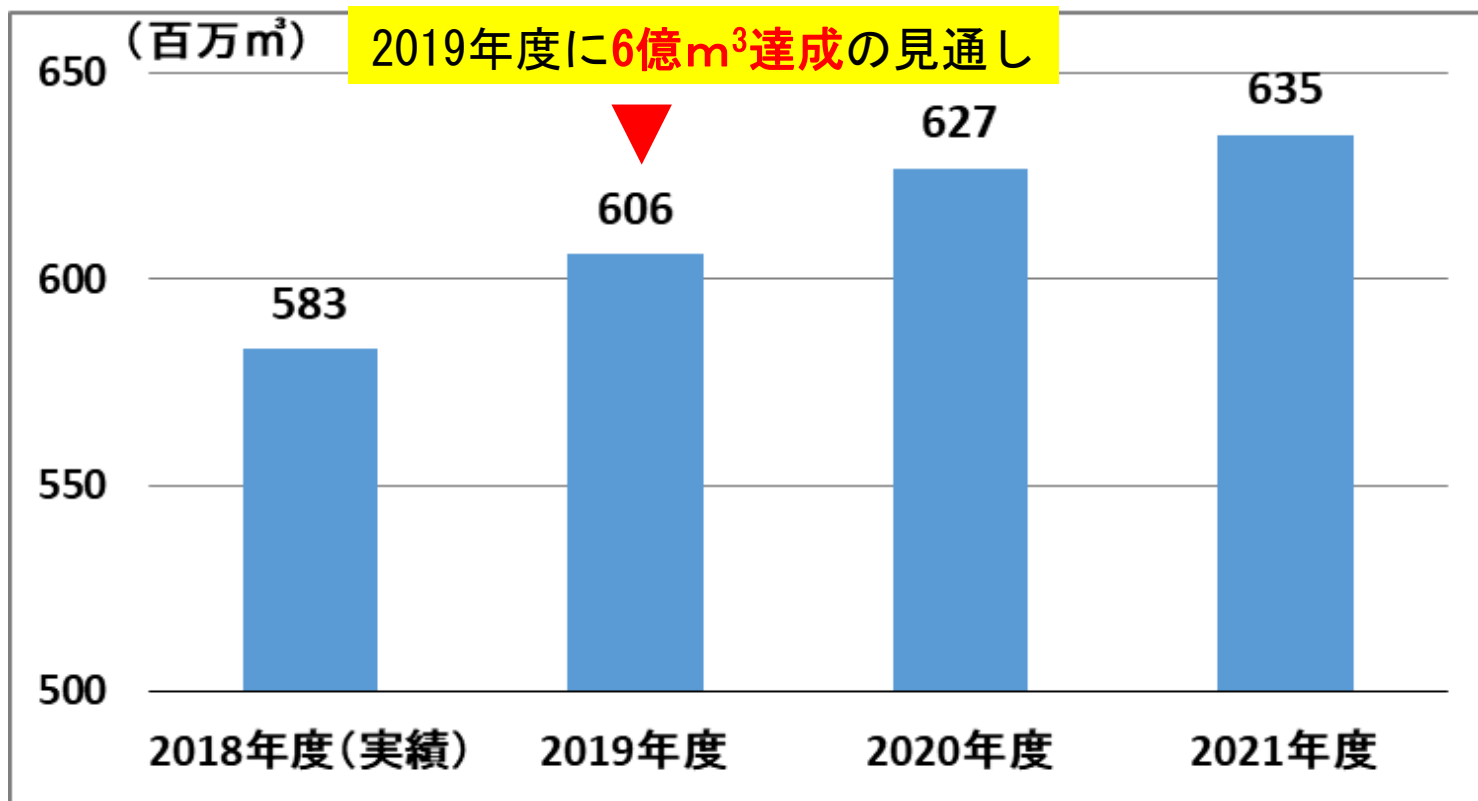
1. 総合エネルギー事業の更なる普及拡大を通じた、省エネ・省CO₂への貢献とエネルギーサービス周辺事業の強化による事業拡大を図る。
2. 環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究を通じた、環境負荷低減に資する施策を推進する。
3. デジタル技術の活用による高付加価値の創造を図ることによって、新たな価値創造と業務効率化を推進する。
4. グループ組織力の強化につながる創造性豊かな人材の育成と活用により、グループ総合力の向上を図る。
5. 安心安全の更なる追求により、エネルギーセキュリティの向上を図る。
6. 社会貢献活動の推進を通じ、地域社会と共に発展する企業グループをめざす。
7. グループ経営基盤の強化を図り、強靱な企業グループの構築と持続的な発展をめざす。
8. 地域社会からの信頼につながる経営を推進する。

2019～2021年度 広島ガスグループ中期経営計画

ガス需給計画（都市ガス）



	単位	2018年度 (実績)	2019年度	2020年度	2021年度	3年間 平均伸び率
都市ガス (卸供給含む)	百万m ³	583	606	627	635	2.8%



2019年度ガス需給計画（都市ガス）



		2018年度実績	2019年度計画	対前年伸び率
ガス販売量 (百万 ³ m)	家庭用	98	102	3.9%
	業務用	商用	46	6.5%
		工業用	338	3.6%
		その他	38	5.3%
	合計 (卸供給等除く)		526	4.0%
	卸供給等		80	3.8%
	総合計		606	3.8%

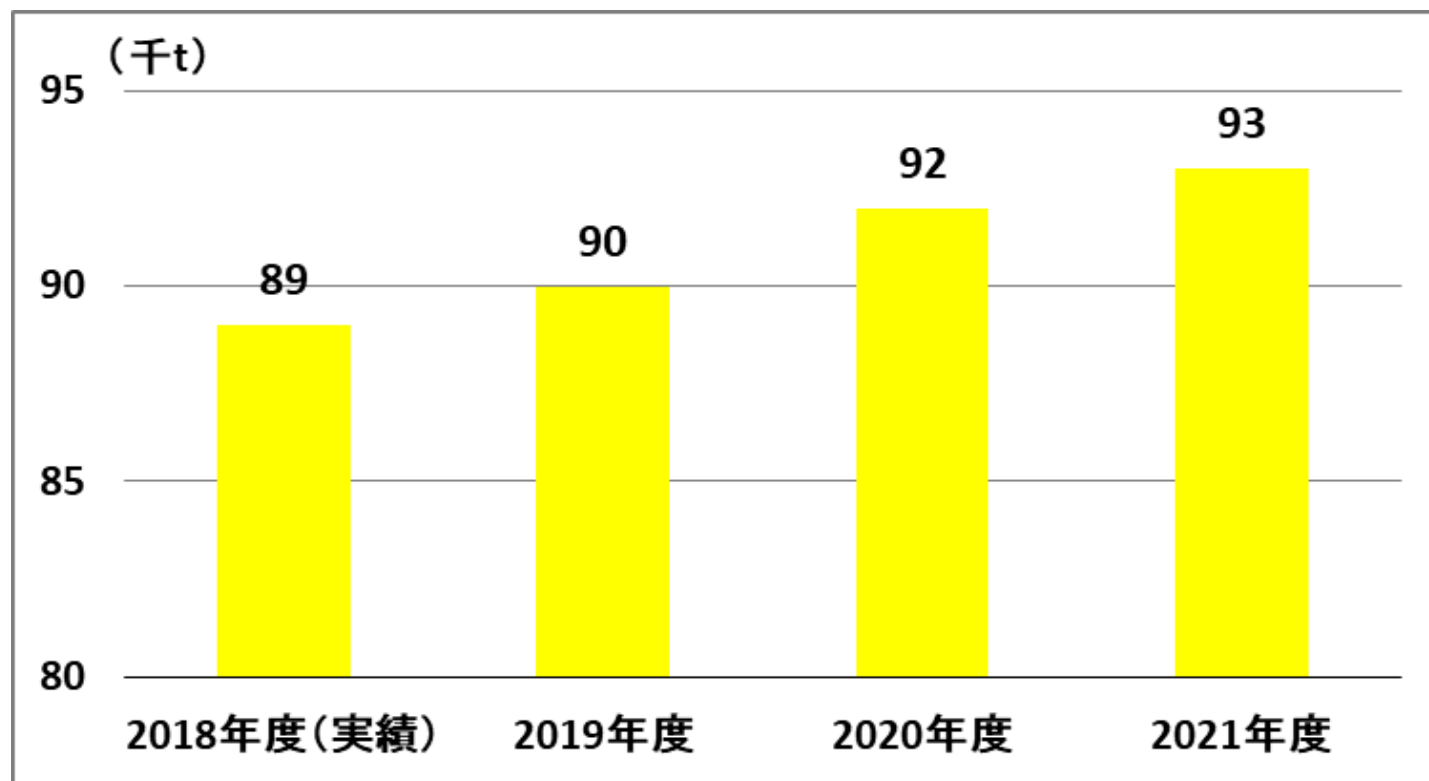
(端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります)

2019～2021年度 広島ガスグループ中期経営計画

ガス需給計画（LPG）



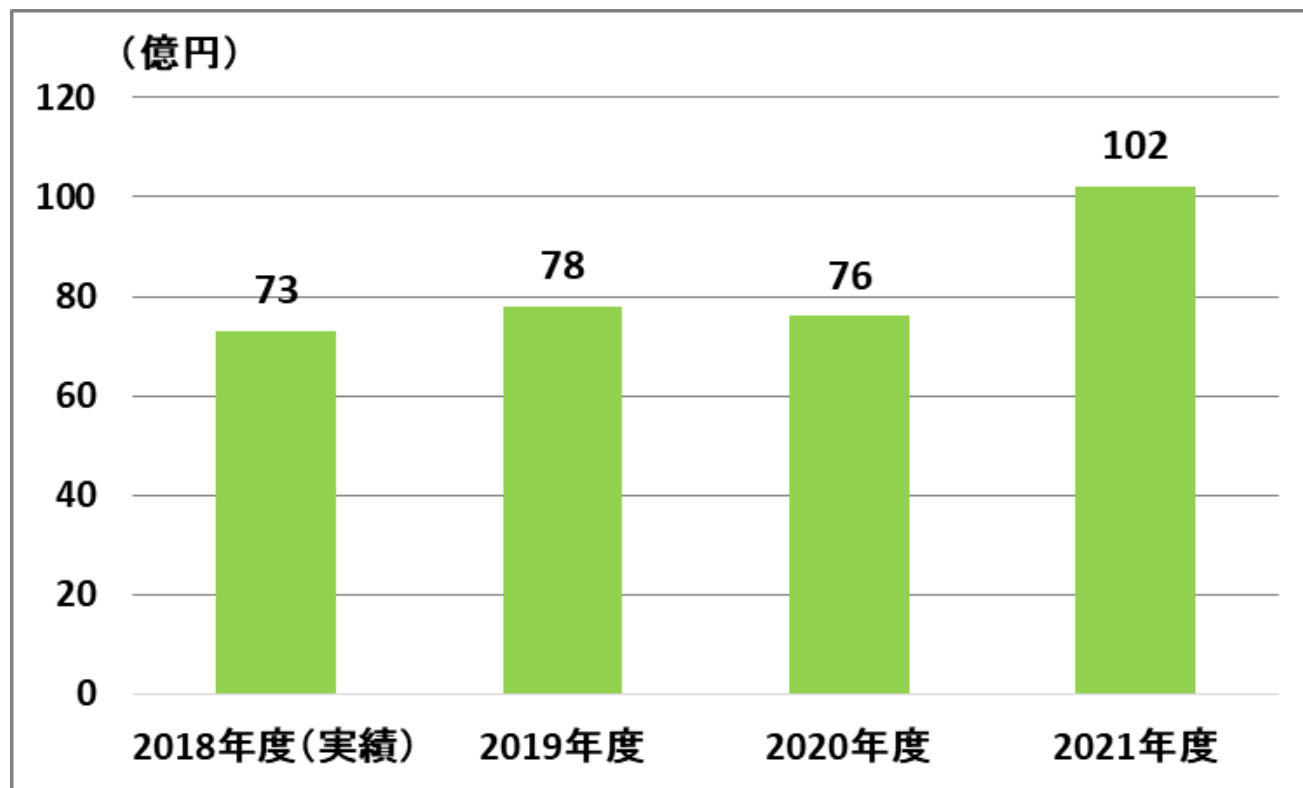
	単位	2018年度 (実績)	2019年度	2020年度	2021年度	3年間 平均伸び率
L P G	千 t	89	90	92	93	1.5%



2019～2021年度 広島ガスグループ中期経営計画 設備投資計画（グループ）



	2018年度 (実績)	2019年度	2020年度	2021年度	3年間 合計
広島ガスグループ	73億円	78億円	76億円	102億円	256億円



2019年度設備投資計画（広島ガス）



	2019年度計画	備 考
製 造 設 備	6億円	廿日市工場温水ボイラー設備等
供 給 設 備	54億円	幹線投資（広島湾岸幹線）等
業 務 設 備 等	9億円	設備更新等
合 計	70億円	

（端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります）

4. トピックス



- (1) 各種サービスの充実
- (2) エネファーム余剰電力買取サービス
- (3) 機器購入ポイントサービスの実施
- (4) 環境への貢献につながる事業展開と
次世代エネルギーの研究への取り組み
- (5) CSRへの取り組み

(1) ① 各種サービスの充実



電力は2016年4月に、都市ガスは2017年4月に全面自由化

全国におけるガスのスイッチング申込件数 (2019年4月30日時点)

地 域	申込件数	地 域	申込件数
北海道	—	近畿	881,589
東 北	—	中国・四国	—
関 東	992,437	九州・沖縄	97,344
中部・北陸	282,903	全 国	2,254,273

※現在、中国・四国地方において、新たに一般家庭へ都市ガスを供給する予定の事業者はなし。

(1) ② 各種サービスの充実



会員制Webサービス・ポイントサービスの導入



まちには人がいる
このまちの「ひと」思いサービス

- ・Web会員サイト
- ・ポイントサービス



まちにはくらしがある
このまちの「くらし」思いサービス

- ・生活関連サービス



料金サービス・料金メニュー

期間限定料金サービスの実施

(2017年度)
「広島東洋カープ」と「このまち」応援割

「基本料金」を期間限定(2018.1月分)で8%割引

(2017年度、2018年度)
ガスファンヒーターはじめて割

「ガス料金」を期間限定(2018.12～2019.3月分)で総額15%割引

新たな料金メニューの導入

学びと長寿応援プラン (2018年7月～)

- 「このまち」の次世代を担う『ジュニア世代』、また、これまで「このまち」の発展に多大なる貢献をしていただいた『シニア世代』といった「ひと」を思い、これらの方々が「集い、くらす」施設※を応援するため、**ガス料金を3%割引**

※認可保育所等の「**保育所**」、幼稚園や小中学校等の「**学校**」、養護老人ホームやデイサービスセンター等の「**老人福祉施設**」

(1) ③ 各種サービスの充実



2018年10月1日
サービス開始

中国電力の電気と広島ガス・広島ガスプロパンのガスを
同一場所でお使いのお客さまに対する新たなサービス
「ぐっとずっと。このまち思いセットサービス」

電気やガスのご使用などで貯まるポイントに加え、
毎年最大 **1,000** ポイント をプレゼント！（各社500ポイント）

各社のWEBサービスが、ますます便利に！おトクに！

中国電力 会員制WEBサイト

ぐっとずっと。クラブ

エネルギーポイント

年間最大**500**ポイント



MY HIROSHIMA GAS

広ガスポイント

年間最大**500**ポイント

(2) エネファーム余剰電力買取サービス



「エネファームtypeS」余剰電力買取サービスの開始 (2019年4月開始)

エネファームtypeSで発電した電力のうち、お客さま宅で利用しなかった電力
(余剰電力) を当社で買取ります。

これにより、さらに**光熱費削減**効果、**CO2削減**効果を高めることができます。

(電力買取イメージ)

ご家庭で優先的に使用



使われなかった電力は
社会全体で活用



家庭用燃料電池
「エネファームtypeS」

(3) 機器購入ポイントサービスの実施



実施内容

(1) サービス内容

- ・ガスショップにてガス機器をご購入されたお客さまに
広ガスポイントを付与

(2) サービス開始日

- ・2019年7月1日

※2019年4月よりサービス内容のPRを開始

(3) ポイント付与対象

- ・広ガスポイントサービス対象のWeb会員かつ
ガスショップにて家庭用ガス機器長期保証サービス対象の
ガス機器をご購入されたお客さま

(4) ポイント付与数

- ・ガス機器ごとにポイント数を設定

機種名	ポイント数	機種名	ポイント数
ガステーブルコンロ (1口)	50 P	ガス暖房専用熱源機	500 P
ガステーブルコンロ	200 P	ガス温水式浴室暖房乾燥機	400 P
ガスビルトインコンロ	600 P	ガス温水式床暖房	1,000 P
エネファーム	10,000 P	その他温水端末 ^{※1}	500 P
ガス給湯専用機	400 P	ガス暖房器	200 P
ガスふろ給湯器	1,000 P	ガス衣類乾燥機	800 P
ガス給湯暖房熱源機	1,500 P		

※1 温水式給湯器、温水式床暖房、温水式浴室暖房乾燥機、温水式暖房器、温水式衣類乾燥機、温水式温水端末等。

サービス導入の目的

- ① 広ガスポイントサービスの拡充によるお客さま満足度の向上
- ② 新規Web会員の獲得促進による既存お客さまの囲い込み

(4) 環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究への取り組み



基本的な考え方

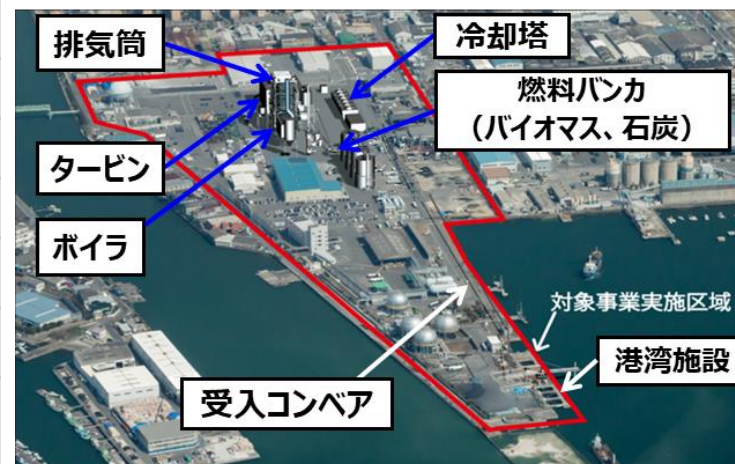
- 第5次エネルギー基本計画を踏まえた脱炭素化社会への貢献につながる事業の検討と実施。
- 低炭素化に資する次世代エネルギー技術への取り組みと新たな事業基盤の構築。

具体的実施事項

(1) 海田バイオマス混焼発電事業

- ・2018年12月10日に建設工事着工
- ・2021年3月の営業運転開始予定

会社名	海田バイオマスパワー株式会社	
所在地	広島県安芸郡海田町明神町2番118号	
出資比率	広島ガス（50%），中国電力（50%）	
発電所名	海田発電所	
発電設備	発電出力	約10万kW（送電端）
	発電方式	循環流動層ボイラ
	使用燃料	バイオマス(うち国内材は広島県内から調達)，石炭，天然ガス(助燃・バックアップ用)



(2) 2030ビジョンに基づいた事業の検討

- ・「新規事業戦略室」を中心とした新規事業の検討

(5) ① CSRへの取り組み(環境への取り組み)



①お客さま先での環境負荷の低減

- ・(環境にやさしい)天然ガスの普及拡大
- ・エネファーム(家庭用燃料電池)の普及促進
- ・エネルギー利用効率の高いガスコージェネレーション
- ・天然ガス高効率利用の促進(ガス空調)



エネファーム

②事業活動における環境負荷の低減

- ・ガス導管工事における排出物削減と再資源化
- ・ガスコージェネレーションシステムの導入(廿日市工場)
- ・ISO14001認証取得(製造部門)
- ・大規模太陽光発電設備の設置
- ・海田バイオマス混焼発電事業の実施



阿賀太陽光発電所(呉市)

③地域環境保全への貢献

- ・地域清掃活動
- ・各種環境フェアなどへの出展
- ・地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画



事業所周辺清掃

(5) ② CSRへの取り組み(地域貢献活動)

芸術・文化振興、地域振興

- ・「広島交響楽団ホットコンサート」の開催
- ・ひろしまフラワーフェスティバルへの参加
- ・「広島インドネシア協会」における国際交流活動
- ・「呉みなと祭」「尾道みなと祭」



広島交響楽団ホットコンサート

教育支援(次世代教育への取り組み)

- ・食育、火育、エネルギー・環境教育、防災教育などの次世代教育への積極的な取り組み



防災教室

スポーツ振興

- ・スキー部(スノーボードアルペン選手 竹内智香)
- ・バドミントン部(S/Jリーグ所属)
- ・サンフレッチェ広島「広島ガススポンサードゲーム」の開催
- ・広島東洋カープ「広島ガススポンサードゲーム」の開催
- ・広島東洋カープ地元4社で合同応援の実施



バドミントン部

ご清聴 ありがとうございました

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後のさまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



このまち **思い** エネルギー。

広島ガス

(ご参考)会社概要



■お客さま件数 41万2千件(2019年3月31日現在)

■都市ガス供給区域 広島県内の7市4町

■広島県東部地区にて福山ガスに卸供給

■東京証券取引所市場第一部銘柄に指定(2015年3月9日)

■証券コード 9535

■単元株式数 100株

■発行済株式総数 67,998,590株



>>>供給区域と体制

供給区域(広島県内7市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、
安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま戸数
412千件

広島地区

お客さま戸数
348千戸



本社



可部基地

可部基地



海田基地



東広島製造所



備後工場

備後工場

尾道支店



尾道支店

卸供給
(広島ガス)
連結子会社である
瀬戸内パイプライン㈱
の設備を活用した卸
供給



水島ステーション
(瀬戸内パイプライン㈱)



水島LNG基地
(水島工業エヌジー㈱)

岡山県

水島ステーション
水島LNG基地

凡例			
供給区域 (広島地区)		ガスホルダー	●
供給区域 (呉地区)		ガス製造所	●
供給区域 (尾道・三原地区)		本社・支店・基地	■
幹線 (広島ガス)	—	検計中継機	—
		幹線 (瀬戸内パイプライン)	—

呉地区
お客さま戸数
47千戸



呉支店



熊野基地

尾道・三原地区
お客さま戸数
17千戸

(ご参考) 主要決算数値



【ご参考】主要経営指標(過去10年)

(百万円)

	FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018
売上高	70,524	73,311	76,731	77,912	83,541	88,851	76,303	70,002	73,717	81,842
営業利益	3,067	3,782	1,347	2,841	2,058	4,111	5,475	3,812	2,920	1,926
経常利益	3,106	3,959	1,803	3,170	3,235	4,699	5,775	4,310	3,506	2,509
当期純利益(※1)	2,083	2,606	91	1,835	1,969	2,746	3,647	5,560	2,499	1,971
減価償却費	7,724	7,463	7,221	6,449	7,284	6,925	7,091	6,858	7,269	7,349
営業キャッシュフロー(※2)	9,807	10,070	7,313	8,285	9,253	9,671	10,739	10,313	9,319	9,320
設備投資額	4,106	3,864	5,457	7,227	12,257	9,667	9,851	8,267	7,401	7,377
フリーキャッシュフロー(※3)	5,701	6,205	1,856	1,057	-3,004	4	887	2,045	1,918	1,942
総資産	93,754	88,841	91,135	89,806	96,785	99,759	102,357	102,363	102,717	104,935
自己資本(資本)	28,560	30,471	30,142	32,190	33,586	37,340	39,961	45,825	48,332	48,019
有利子負債	44,366	38,726	40,707	36,193	42,360	39,215	37,350	36,310	34,455	36,293
ROA(%) (※4)	2.2	2.9	0.1	2.0	2.1	2.8	3.6	5.4	2.4	1.9
ROE(%) (※4)	7.6	8.8	0.3	5.9	6.0	7.9	9.4	13.0	5.3	4.1
自己資本比率(%)	30.5	34.3	33.1	35.8	34.7	37.4	39.0	44.8	47.1	45.8
EPS(円)	35.3	43.9	1.5	31.2	33.3	46.3	55.7	82.0	36.8	29.1
BPS(円)	482.1	512.9	512.4	545.2	567.1	571.0	590.1	675.2	676.2	677.2
D/E レシオ	1.6	1.3	1.4	1.1	1.3	1.1	0.9	0.8	0.7	0.8

※1 2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」に表記変更

※2 「営業キャッシュフロー＝当期純利益＋減価償却費」により算定

⇒FY2008、FY2016、FY2017はキャッシュを伴わない特別損益を加減

＜FY2008＞循環取引損失2,364百万円、循環取引損失引当金繰入1,369百万円 ＜FY2016＞債務免除益2,105百万円 ＜FY2017＞退職給付制度改定益449百万円

※3 「フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資額」により算定

※4 ROA・ROE算定の総資産・自己資本は期首・期末の平均値

(ご参考)販売量データ



		FY2009	FY2010	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018
家庭用	販売量(百万m3)	106	108	107	105	103	103	100	99	104	98
	対前年比(%)	-0.0	1.7	-0.5	-2.0	-2.2	0.7	-3.5	-0.9	4.8	-5.2
商業用	販売量(百万m3)	51	51	49	48	47	45	43	44	45	43
	対前年比(%)	-10.7	1.5	-4.8	-2.1	-1.1	-4.9	-3.3	1.9	2.5	-4.0
工業用	販売量(百万m3)	269	275	273	262	258	242	242	255	271	326
	対前年比(%)	10.8	2.2	-0.6	-4.2	-1.3	-6.4	-0.0	5.4	6.3	20.3
その他用	販売量(百万m3)	34	39	37	37	38	37	36	38	38	36
	対前年比(%)	-1.3	12.7	-3.7	-0.1	2.7	-4.2	-2.7	5.8	1.5	-5.6
卸供給	販売量(百万m3)	51	54	55	60	61	62	60	56	58	77
	対前年比(%)	9.4	7.1	1.5	8.1	1.9	2.7	-3.9	-5.9	3.6	30.9
合計	販売量(百万m3)	512	529	524	513	509	491	483	494	519	583
	対前年比(%)	4.9	3.2	-1.0	-2.0	-0.8	-3.5	-1.8	2.4	5.0	12.3